

一九六〇年二月二十五日
発行



第44巻 第1号

史学・地理学・考古学

維新前後の領主支配と農民諸階層…………… 有 泉 貞 夫 (1)
——甲州田安領について——

幕末国学思想の一類型…………… 田 原 嗣 郎 (46)
——大國隆正についての断面的考察——

六朝時代の巫俗…………… 宮 川 尚 志 (74)

南宋の四川における張浚と呉玠…………… 山 内 正 博 (98)
——その勢力交替の過程を中心として——

ピーコックの立場 (上)…………… 松 浦 道 一 (125)
——十五世紀中葉における宗教論争について——

書 評

安田元久編：日本封建制成立の諸前提…………… 工 藤 敬 一 (142)

紹 介

中村直勝博士蒐集古文書 水口町志 西宮市史 第二巻

学界消息 会告 例会予告

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

東洋史研究会
京大文学部東洋史研究會

めには必要となるであらう。最後に幕府の御家人統制に関する氏の指摘は極めて示唆に富んだものであるが、氏が人吉庄について具体的に述べられたように、鎌倉時代を通じて惣領権のあり方にも変化があるし、蒙古襲来などの外的条件によつて幕府の方針にも若干の変化があつたのではなからうか。このような点は、本論文の枠外に出る見当はずれの注文かも知れないが、重要な問題であるだけに、あえて今後の氏の成果を期待したいと思ふのである。

以上極めて大雑把な紹介と感想に終始してしまつた。各論文とも意欲にみちた雄篇であり、それぞれの主題について今後の研究に貢献するところがすくなくない。それだけに執筆者諸氏の真意を充分に理解し得なかつたことをおそれつつも、卒直な感想を述べさせてもらつた。私の不明については御寛恕を乞うと共に、この若き中世史研究グループの諸氏が、今後とも一層の新風を学界に吹きこまれんことを期待して擱筆する。

(一九六〇・九・二三)

(A5判 四〇五頁 昭和三五年五月 吉川弘文館発行 五八〇円)

執筆者紹介

有泉 貞夫 京都大学大学院学生
 田原 嗣郎 北海道大学講師
 宮川 尚志 岡山大学助教授
 山内 正博 宮崎大学講師
 松浦 道一 広島大学助教授
 工藤 敬一 京都大学大学院学生

例会予告

二月四日(土)午後一時より
 於 京大楽友会館
 トンガ調査旅行談 藪内 芳彦
 アフガニスタン東北部の旅 酒井 敏明
 (共にスライド上映)

しました。御了承下さい。
 一 会費納入についてお願い

本年度の会費納入状況は、当方の予想を大幅に下廻つて、全く不振を極めております。会費不足金のある方は、至急御納入下さるようお願いいたします。

史学研究会

編集後記

本号より本誌の論文・研究ノート類の掲載はすべて日本史・東洋史・西洋史・地理・考古学の順、各学科内部は時代・地域順とすることになりました。本会の性格からして委員会に特定のイデオロギー的価値基準があるわけはなく、個々の委員の主観的判断によつて編集が左右されえないとすれば、いきおい論文の判定は「純粹学術的な見地」によらざるをえません。そのような見地の存否はともかくとして、増頁以前のように一号二〜三篇の掲載論文ならばそれも可能であります。最近のように毎号六〜七篇のいづれ劣らぬ力作が各科からよせられますと「純粹学術的」な判定というようないかにかにむなし、と

らまえてころのないものであるかということ——委員の不勉強を棚に上げて——痛感されます。いつそんなことに精力を費すよりは前記のように定め、委員会は論文の取捨選択に全力をそそいだ方が生産的であり、部分的には日本社会に根づよく残っている年功序列的思想を打破する上で合理的である——というのが私たちの結論です。会員の皆様の中には或いは唐突な感じをお受けになる方もいらっしゃるかもしれませんが、委員会としては増頁以後二年間検討を重ねてきた問題であり、最善ではないにしても、現在の会であり方を最も素直に反映した前進的な性格をもつものと確信しています。今後は、掲載論文の内容についていよいよ重くなる責任を自覚し、一同大いに奮励するつもりでありますので、皆様の強い御支持と御理解をお願いする次第です。

力作の御投稿をお待ちして居ります。
 (朝尾直弘)

史林投稿規定

- ◇資格 本会々員に限る。
- ◇原稿の長さ
- 研究論文 四百字詰五〇枚程度
- 研究ノート 四百字詰五〇枚以内
 (以上には、四百字以内の要約二通
 「一通は英文要約用」添付のこと)
- 資料紹介 随意
- 学界動向 四百字詰三〇枚程度
- 書評 四百字詰二五枚以内
- 紹介 四百字詰三枚以内
- ◇×切 毎偶数月末

一九六〇年二月二十五日印刷
 一九六一年一月一日発行
 定価一八〇円
 史林 (第四四巻第一号)

発行所 京都市左京区吉田本町
 京都大学文学部内
 史学研究会

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内栗町三九
 中村印刷株式会社
 理事長 宮崎市定
 編集主任 赤松俊秀

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLIV, No. 1 Jan., 1961

CONTENTS

Articles :

- Feudal Rule and the Peasantry around
the RestorationS. Ariizumi (1)
- An Aspect of *Kokugaku* 国学 in the
Later *Edo* EraT. Tawara (46)
—in case of *Ôkuni Takamasa* 大國隆正—
- Shamanism in the Six Dynasties PeriodH. Miyagawa (74)
- Chang-chün* 張浚 and *Wu-chien* 吳玠 in
Szū-Ch'uan 四川 of *Nan-sung* 南宋 Dynasty ...M. Yamauchi (98)
—on process of their shift of power—
- Peacock's Standpoint (I)M. Matsuura (125)
—religious controversy in the middle of
the fifteenth century—

Book Reviews and news

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan